

令和 7 年度当初予算案市長説明

(令和 7 年 2 月 13 日)

堺 市

令和7年度当初予算案をはじめ関連諸議案の審議をお願いするにあたりまして、市政運営の方針を申し上げます。

令和7年度は市政運営の大方針である「堺市基本計画2025」の最終年度です。

都市像に「未来を創るイノベーティブ都市」を掲げ、徹底した事業の見直しやデジタル化・DX推進、区役所機能の強化等の行政改革、物価高騰をはじめ喫緊の課題への対策、持続可能な財政運営に向けた取組を進めています。さらに、子育て・教育環境の充実や健康寿命の延伸、安全・安心な住環境の形成など暮らしの質の向上、市内各地域の魅力創出や地域経済の活性化にも力を注いでいます。

令和7年度当初予算案は、「堺市基本計画2025」の集大成として「堺の安心を守り、未来を切り拓く予算」と位置付け、「安心できる堺の確保」と「堺の未来への挑戦」を軸に予算編成を行いました。

予算規模は一般会計が4879億円、特別会計と企業会計を合わせた全会計が8380億円です。

社会保障関係費や全員喫食制の中学校給食開始等に伴う物件費の増加などにより、一般会計の規模は令和6年度から204億円増加し、過去最大です。

令和7年度当初予算案のうち、「安心できる堺の確保」の主な取組をお伝えします。

こどもの育ちを応援し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、就労要件を問わず認定こども園等の施設を利用できる「こども誰でも通園制度」を令和8年度の本格運用を見据え試行的に実施します。

また、様々な理由により保護が必要となったこどもを一時的に保護する施設の定員超過に対応するため、新たに一時保護所サテライトを設置します。

学校給食に関しては、心身ともに成長期にある中学生に栄養バランスのとれた給食を提供するため、6月から全員喫食制の中学校給食を開始します。

加えて、小学校及び特別支援学校小学部の学校給食費の無償化を段階的に進めます。令和7年度は1年生及び2年生、8年度は1年生から4年生、9年度以降は全学年を対象に無償化を実施します。

併せて、栄養バランスと量を保った給食を提供するため、4月から1年間、小・中学校及び特別支援学校の全学年で食材費の高騰分を支援します。

また、校外学習におけるバス借上料の高騰分を支援します。

教育環境の充実に向けては、特別支援学校における学びに必要なスペースを確保するため、宮園小学校の敷地の一部を特別支援学校分校として整備します。

また、教育環境と避難所環境の向上を図るため、小・中学校、高等学校及び特別支援学校の体育館に空調を順次整備します。

教員の働き方改革に向けては、事務負担軽減のため教員業務支援員を配置することに加え、教材費等の学校徴収金の徴収・管理事務を公会計化する管理システムを構築します。

さらに、専門家等で構成する「堺市こども自殺危機対応支援チーム」を設置し、学校や教職員の自殺危機対応スキルの向上や心理的ストレスの低減を図ります。

大規模災害への備えとして、災害発生直後から負傷者に対し迅速かつ適切な医療を提供するため、医療機関と連携した拠点応急救護所の増設準備に加え、防災拠点等でインターネット通信環境を確保できるよう衛星通信機器を導入します。

また、災害時の被害を最小限に留め、安全な水と衛生環境を確保するため、避難所につながる管路等の耐震化を上下水道一体で進めます。

市民の安全・安心の確保に向けては、警察や地域、事業者等と連携して、高齢者を中心に被害が増加している特殊詐欺の撲滅をめざす行動を強化します。

また、消防活動において迅速かつ適切な部隊の投入や経路選定のため、災害現場の近くを走行する車両のドライブレコーダー映像を活用できるシステムを導入します。

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリ対策では、公園等の市有施設において薬剤散布やネット巻きなどの樹木への防除を徹底することに加え、防除講習会等を強化・拡充し、市民による防除行動を促進します。

高齢者の介護予防の推進に向けては、これまで実施してきたフレイル予防プログラム『介護予防「あ・し・た」プロジェクト』で構築した施策モデルを地域で展開するためのパイロット事業を実施します。

障害のある方への支援では、緊急時の受入れ先となる短期入所事業所の増設や移送が必要な場合の自宅等へのかけつけ実施など緊急時の受付対応機能を強化します。

また、がん治療に伴う外見の変化により社会参加への不安や精神的ストレスを抱える方に寄り添った支援として、ウィッグや人工乳房等の購入費用の一部を助成します。

今年は戦後 80 年を迎えます。戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に伝えるため、堺大空襲の次世代の語り部育成や大阪戦没者追悼式において戦争体験談の記録と伝承、平和学習等の取組を実施します。

昨年運用を開始した大阪府の総合行政ポータル「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」と地域ポータルアプリ「堺・せんぼくポケット」や本市の図書館情報システムを連携し、公民のサービスにおける利便性や暮らしの質の向上、スマートシティ推進を図ります。

次に、「堺の未来への挑戦」の主な取組をお伝えします。

4月に開幕する大阪・関西万博に関しては、堺の魅力を国内外へ発信する万博会場催事や次の時代の堺を担うこどもたちの国際感覚の醸成など自ら未来を切り拓く行動につながる取組を実施します。

また、多くの方に本市を訪れていただけるように市内誘客や周遊を促進します。

優良な観光コンテンツの創出・磨き上げとして、民間事業者による運行をめざすガス気球に市内の小中学生を招待する「こども気球体験」や歴史的建築物等を観光関連施設に活用するための整備費用の支援などを実施します。

加えて、観光ツアーへの一部補助や宿泊事業者へのエネルギー価格高騰支援を行います。

さらに、効果的なプロモーションの展開として、観光関連団体と連携したプロモーションや万博会場への駅シャトルバス車内における堺観光PRなどを行います。

スポーツの取組としては、堺を拠点とするプロスポーツチーム等と連携し、企業版ふるさと納税を活用してこども向けスポーツ教室や交流イベントなどを実施します。

文化芸術の振興に向けては、(仮称)堺ミュージアムの整備をめざして懇話会を設置し、基本構想(案)を策定します。

産業振興に関しては、市内への企業投資をより一層誘導するため、「堺市イノベーション投資促進条例」を一部改正し、脱炭素エネルギー供給拠点を新たに対象に追加することに加え、中百舌鳥地域の対象エリア拡張などを行います。

市内中小企業の生産性向上への支援として、DX(デジタルトランスフォーメーション)の実践に向けた専門家による伴走支援等のサポートや産学連携により新たな製品・サービスの開発にチャレンジする費用の補助などを実施します。

また、女性活躍の推進に向けて、女性の採用や定着を進めたい企業に専門家等を派遣し、柔軟な働き方の導入を支援するなど、働きやすく働きがいのある職場環境の形成を図ります。

カーボンニュートラルをめざす脱炭素先行地域の取組では「堺エネルギー地産地消プロジェクト」を推進し、民間施設の屋根に設置した太陽光発電設備の余剰電力を公共施設に供給する事業者への補助や市役所本庁舎のZEB化改修等を実施します。

堺都心部の活性化に向けては、南海高野線の連続立体交差化を見据え、堺の顔としてシンボル性のある堺東駅街区を実現するため、整備の方向性や備えるべき機能、必要な空間の配置等を検討します。

また、SMI 都心ラインの実現に向け、自動運転の走行及び正着、停留所における滞留空間の創出や情報発信に係る実証実験等を行います。SMI 美原ラインにおいては本格運行に関する検討や実証実験を行います。

公共交通の利用促進を図るため、現在は紙チケットとして販売している「堺おもてなしチケット」のデジタル化や万博期間中の割引販売等の費用を支援します。

若年・子育て世代の移住促進に関しては、関係団体と連携し、泉北ニュータウン内の戸建て中古住宅において最低6年間貸し出すことを条件に、持ち主にリフォーム費用の一部を補助します。

自転車を活用した都市魅力を感じられる「サイクルシティ堺」の推進に向けては、大和川沿川に自転車体験やサイクルサポート機能を有する自転車賑わい拠点施設を整備します。

以上、令和7年度当初予算案の主な施策をご説明しました。

予算案と併せて公表した「財政収支見通し」では、前回の試算と比べて市税や地方交付税等の歳入が増加する一方で、人件費や社会保障関係費の増加、物価高騰等の影響、小学校給食費の無償化などで収支及び基金残高は前回の試算と比べて概ね同じ水準で推移する見込みです。

今後も持続可能な財政運営に向けた取組を着実に進めます。

組織体制に関しては、大阪・関西万博の開催に伴う関係機関との調整を円滑に進め、市内への波及効果の最大化につなげるため、市長公室に「万博調整担当課長」を配置します。また、政策企画部の担当課長を関連事務に応じて課に見直し、効果的かつ効率的な事務執行を強化します。

総務局では、全庁的かつ中長期的な視点から総務事務を戦略的に推進するため、行政経営課を総務課に統合し、組織の名称を「行政総務課」とします。併せて、従来の行財政改革に加えて構造改革を進めるため、行政総務課に「行財政・構造改革担当課長」を配置します。

建築都市局では、組織間の調整の円滑化や意思決定の迅速化を図るため、都心未来創造部を交通部と都市整備部に再編し、関連事業を所管する担当課長を課に見直します。

この先、少子化に伴う人口減少が加速し、本市を取り巻く環境は更に厳しさを増すことが予想されます。そのような中であっても、本日お伝えした内容に着実に取り組み、先人から受け継いだ堺の貴重な資源や可能性を最大限に活かして挑戦し続けることにより、輝かしい堺の未来を切り拓き、次の世代に今以上に素晴らしい堺を引き継ぐために行動します。

市民の皆様がこれからも堺で安心して暮らし続けることができ、将来にも夢と希望が持てる都市であるように力を尽くしますので、議員の皆様、市民の皆様におかれましては、引き続きのご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

令和7年度当初予算案市長説明

令和7年2月 発行

編集・発行 堺市財政局財政部財政課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
Tel 072-233-1101
URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号

1-B2-24-0040